

第5回ガイドスケジュール（予約不要）

| 日にち | 午前の部【9:30-12:00】 | 午後の部【13:30-16:00】 |
|-----------|---------------------|---------------------|
| 10月 6日(火) | 2. 狭山の第四系 | 3. 狭山の縄文時代 |
| 10月 7日(水) | 7. 日光脇往還と根岸の渡し | 4. 狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る |
| 10月 8日(木) | 5. 縄文土器のそうだったのか | 1. 想像してみよう縄文人の生活 |
| 10月 9日(金) | 8. 昭和の生活用具と防災 | 3. 狭山の縄文時代 |
| 10月10日(土) | 2. 狭山の第四系 | 4. 狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る |
| 10月11日(日) | 6. 中世・入間川にまつわる武将たち | 7. 日光脇往還と根岸の渡し |
| 10月13日(火) | 1. 想像してみよう縄文人の生活 | 4. 狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る |
| 10月14日(水) | 5. 縄文土器のそうだったのか | 2. 狭山の第四系 |
| 10月15日(木) | 1. 想像してみよう縄文人の生活 | 3. 狭山の縄文時代 |
| 10月16日(金) | 6. 中世・入間川にまつわる武将たち | 5. 縄文土器のそうだったのか |
| 10月17日(土) | 4. 狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る | 1. 想像してみよう縄文人の生活 |
| 10月18日(日) | 7. 日光脇往還と根岸の渡し | 5. 縄文土器のそうだったのか |
| 10月20日(火) | 2. 狭山の第四系 | 3. 狭山の縄文時代 |
| 10月21日(水) | 6. 中世・入間川にまつわる武将たち | 7. 日光脇往還と根岸の渡し |
| 10月22日(木) | 2. 狭山の第四系 | 4. 狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る |
| 10月23日(金) | 5. 縄文土器のそうだったのか | 2. 狭山の第四系 |
| 10月24日(土) | 8. 昭和の生活用具と防災 | 3. 狭山の縄文時代 |
| 10月25日(日) | 1. 想像してみよう縄文人の生活 | 7. 日光脇往還と根岸の渡し |

※ガイドスケジュールに示された時間中は担当解説員が常設展示室に常駐しています。
 解説希望の方はスタッフもしくはガイドまでお声がけ下さい。
 ※常設展示室への入場は、博物館入館料150円が必要になります。
 ※ガイドツアーの参加者人数は、感染症対策として20名を上限とさせて頂く場合があります。ご了承下さい。



博物館ボランティア
さやまナビーズ



開催期間

令和2年10月6日(火)～10月25日(日)

ごあいさつ

狭山市立博物館にご来館頂き、ありがとうございます。当館では博物館ボランティア（さやまナビーズ）の皆さんが、常設展示の解説を行うガイドツアーを行っています。平成30年度の春に第1回を行い、好評につき毎年開催して5回目を迎えます。今回は8名のメンバーがそれぞれ興味深いテーマで解説を行いますので、是非多くのガイドを聞きにいらして下さい。

また、ボランティアガイドメンバーは随時募集しております。ガイドとしての活動にご興味のある方は、お気軽に博物館スタッフまでお問い合わせください。

狭山市立博物館 館長 志水美枝子

第5回常設展ガイドツアー テーマ&ガイド紹介 全8種



テーマNo.1 「想像してみよう 縄文人の生活」

ガイド 柿沼 朗

住んでいた土地、建てた住居、食べた食糧、使っていた道具、縄文時代について様々なことが教科書に書かれています。なかなか想像がつかないことが多いと思います。今回は常設展示を見ながら、我々と同じホモサピエンスである縄文人が、どのような暮らしをしていたのかを想像し、楽しみたいと思います。

テーマNo.2 「狭山の第四系」

ガイド 加藤 進

第四系とは、地質時代の最も新しい第四紀(約258万年前以降)の地層のことであり、狭山周辺はこれらの地層から構成されています。第四紀とはどんな時代なのか、その気候や特徴を解説し、狭山周辺の地質がどうなっているのか、またアケボノゾウが産出した仏子層などの第四系について紹介します。



テーマNo.3 「狭山の縄文時代」

ガイド 大西 良子

狭山市では笹井や柏原など、様々な場所からたくさんの縄文土器が出土しています。その鮮やかな文様や形からは、非常に豊かな感性が感じられます。今から1万年以上も昔、人々がどのような自然環境の中でどのような生活を送り、素晴らしい感性を育てていったのでしょうか。石器時代のイメージとはまた違う、縄文時代の文化についてご紹介します。



テーマNo.4 「狭山市の鳥居と山門を 常設展で巡る」

ガイド 中西 洋

博物館の常設展示には、狭山市の寺社仏閣についてのジオラマや絵画等が多数あります。その中を「鳥居」と「山門」に焦点を当て、展示室を回りながら一つ一つ見ていきたいと思います。古の建築物がもつ歴史と情緒を垣間見たいと思います。



テーマNo.5 「縄文土器のそうだったのか」

ガイド 木下 義寛

縄文土器はいつ頃作られたのか？何に使われたのか？材料をどこで手に入れたのか？その作り方は？そして不思議な形と装飾…？などなど縄文土器に対する疑問と興味は尽きません。今回はそれら縄文土器について、大好きな陶芸の観点も増えまえながら、見ていきたいと思っています。

テーマNo.6 「中世・入間川にまつわる 武将たち」

ガイド 井口 孝之

入間川には歴史上の人物達の物語が数多く残されています。源頼朝に命を狙われ、鎌倉から逃げてきた若干12歳の少年・清水冠者義高。鎌倉幕府を滅ぼした群馬の雄・新田義貞。入間川に大軍を置き続けた足利尊氏の子、足利基氏。それら武将たちと、彼らが狭山に残した痕跡をご紹介します。



テーマNo.7 「日光脇往還と根岸の渡し」

ガイド 川田みな子

日光脇往還は江戸時代に出来た街道です。当初は八王子同心が日光の警護に当たるために整備された道でしたが、世の中が安定してからは一般庶民も使用を許され、大山詣出の人々なども往来して賑わっていたそうです。今でも市内の根岸地区に当時の雰囲気が残っている場所があります。現豊水橋の辺りには入間川を渡るために設けられた、根岸の渡しがありました。

テーマNo.8 「昭和の生活用具と防災」

ガイド 岡本富美子

博物館には、明治から昭和初期にかけて実際に使われていた民具の実物が展示されています。電気や水道も無かった時代に使われていたこれらの民具は、地震などの災害に見舞われた際など、いざという時の生活に役立つヒントを与えてくれるのではないのでしょうか？今回は南海トラフ型地震の歴史資料となる安政大地震にも触れながらご紹介します。

